

# 第五次地域管理経営計画書

## 第一次変更計画

(四万十川森林計画区)

計画期間 [ 自 平成29年4月1日 ]  
[ 至 平成34年3月31日 ]

[ 変更年月 平成30年3月 ]

四 国 森 林 管 理 局

## 第五次地域管理経営計画（四万十川森林計画区）の変更について

### 【変更理由】

以下の理由により、国有林野管理経営規程（平成11年1月21日付け農林水産省訓令第2号）第6条第9項に基づき変更する。

- ① 保護林制度改正に伴う機能類型及び保護林の種類等の変更並びに「レクリエーションの森」及び「多様な活動の森」の新規設定
- ② 主伐・再造林の推進に伴う主伐量・更新量・保育量の増
- ③ 密度調整が必要な林分の見直しによる間伐量の増
- ④ 管理経営の指針の見直し

### 【変更する項目】

- 1 国有林野の管理経営に関する基本的事項
  - (2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項
    - ① 山地災害防止タイプに関する事項
    - ② 自然維持タイプに関する事項
    - ③ 森林空間利用タイプに関する事項
  - (4) 主要事業の実施に関する事項
    - ① 伐採総量
    - ② 更新総量
    - ③ 保育総量
- 2 国有林野の維持及び保存に関する事項
  - (3) 特に保護を図るべき森林に関する事項
- 4 国有林野の活用に関する事項
  - (1) 国有林野の活用の推進方針
- 6 国民の参加による森林の整備に関する事項
  - (1) 国民参加の森林に関する事項

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項  
 (2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

(単位：面積ha、比率%)

機能類型区分別の国有林野の面積

	山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	計
面積	<u>5,612</u> (11)	<u>189</u> (0)	<u>1,298</u> (3)	— —	44,521 (86)	51,620 (100)

①山地災害防止タイプに関する事項

山地災害防止タイプの面積

(単位：ha)

区分	山地災害防止 タイプ	うち土砂流出・ 崩壊防備エリア	うち気象害防備 エリア
面積	<u>5,612</u>	<u>5,317</u>	295

②自然維持タイプに関する事項

自然維持タイプの面積

(単位：ha)

区分	自然維持タイプ	うち保護林
面積	<u>189</u>	<u>146</u>

③森林空間利用タイプに関する事項

森林空間利用タイプの面積

(単位：ha)

区分	森林空間利用タイプ	うちレクリエーションの森
面積	<u>1,298</u>	<u>1,069</u>

(4) 主要事業の実施に関する事項

① 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	主 伐	間 伐	計
計	<u>681,830</u> 《177,424》	<u>1,020,297</u> (9,092)	<u>1,702,127</u>

注：《 》は分収林の収穫量で内書、( )は間伐面積である。

② 更新総量

(単位：ha)

区 分	人工造林	天然更新	計
計	<u>1,136</u>	345	<u>1,482</u>

注：単位未満四捨五入により内計と計一致しない場合がある。

③ 保育総量

(単位：ha)

区 分	下 刈	つる切り	除 伐
計	<u>3,221</u>	29	438

## 2 国有林野の維持及び保存に関する事項

### (3) 特に保護を図るべき森林に関する事項

地域固有の生物群集を有する森林について、森林生態系からなる自然環境の維持等に資することを目的とする生物群集保護林<sup>\*8</sup>を設定し、原則として自然の推移に委ねる管理を行う。

また、希少な野生生物が生育・生息する森林において、当該個体群の持続性を向上させ、遺伝資源の保護等に資することを目的とする希少個体群保護林<sup>\*9</sup>を設定し、設定目的に応じた適切な保護・管理を行う。

本計画区の保護林は下表のとおりである。

保護林の種類別の名称及び面積

種 類	名 称	面 積 (ha)
<u>生物群集保護林</u>	<small>たかとりやま</small> 鷹取山	95
<u>希少個体群保護林</u>	<small>さだやま</small> 佐田山ヤッコソウ（シイ遺伝資源）	11
	<small>つるばやま</small> 弦場山ウバメガシ（遺伝資源）	4
	<small>ふるややまおとう</small> 古屋山大道マツ（遺伝資源）	9
	<small>かじがたにやま</small> 梶ヶ谷山モミ（遺伝資源）	9
	<small>こすじうねやま</small> 小筋畝山コウヤマキ（遺伝資源）	18
総 数	<u>6</u>	<u>146</u>

注1：単位未満四捨五入により、内計と計が一致しない場合がある。

注2：植物群落保護林「鷹取山」と郷土の森「ゆすはら」を統合し、生物群集保護林「鷹取山」とする。

注3：郷土の森「四万十源流」及び「西土佐」は廃止する。

\*8 生物群集保護林…森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的に保護・管理する、地域固有の生物群集を有する森林

\*9 希少個体群保護林…希少な野生生物の個体群の持続性を向上させ、野生生物の保護、遺伝資源の保護、学術の研究等に資することを目的に保護・管理する、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林

4 国有林野の活用に関する事項  
(1) 国有林野の活用の推進方針

レクリエーションの森の種類別の名称、箇所数及び面積

種 類	箇所数	面積 (ha)	備 考
風致探勝林	<u>2</u>	<u>58</u>	
自然観察教育林	2	333	
風景林	9	679	
計	<u>13</u>	<u>1,069</u>	

## 6 国民の参加による森林の整備に関する事項

### (1) 国民参加の森林に関する事項

ボランティア団体等による自主的な森林整備等自ら森林づくりに参加したいという国民の要請を踏まえ、フィールドの提供等を行う。

また、「ふれあいの森」、「多様な活動の森」については、要請に応じて技術指導を行うなど、地域の特色を活かした森林づくり活動を支援する。

ふれあいの森の名称、面積及び位置

名 称	面積 (ha)	位置 (林小班)
市ノ又山ふれあいの森	8.87	4085ろ、4086ろ

多様な活動の森の名称、面積及び位置

名 称	面積 (ha)	位置 (林小班)
黒尊天然林と 地域遺産を巡る森	13.20	2い、3ろ3・は、4に2、6い4、 7と・ぬ、9は、10い2・は3・ほ、 11い1・ろ1・ろ3、12い・は・に、 13い・ろ・に、19い・は、23ろ、 24ろ・に・と、25ろ・に、 26は・に、27ほ・へ、28い1・は・ へ、29は、30い1・い2・ろ・は1・ は2
足摺・照葉(てるは)の森	59.33	1241い、1243に
てっぺん四万十 裏源流の森	65.06	3282い・ろ・は・に・ほ
<u>西土佐藤ノ川</u> <u>ヒノキ仙人の森</u>	<u>4.11</u>	<u>2010い</u>